



## くしろ「木づな」プロジェクト

[2022年度（令和4年度）事業報告・2023年度（令和5年度）事業計画]

釧路森林資源活用円卓会議

# 要旨

釧路森林資源活用円卓会議は、2010年度(平成22年度)の発足から2014年度(平成26年度)の5年間を「第1期」、2015年度(平成27年度)以降を「第2期」、2018年度(平成30年度)以降を「第3期」、2021年度(令和3年度)以降を第4期として、森林・林業・木材産業に関わるみなさまと歩みつけて発足より14年目を迎えました。

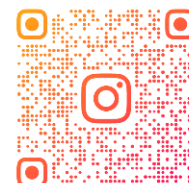
私たちは、川上部門での高性能林業機械やICT機器等による森林施業の低コスト化、川下部門での地域材を活用した建築の推進や商品開発等による森林資源の需要拡大といった取組を通じ、森林資源の循環利用を目指しております。

また、広大な森林と都市機能を併せ持つ釧路市において、大人から子供まで広く取組への理解を醸成し、活動全体の底上げを図るため、木育イベントをはじめとした森林・林業・木材産業に関する普及啓発活動を実施しております。

2023年度(令和5年度)についても、釧路地域の森林・林業・木材産業のさらなる発展を目指した活動を行ってまいります。



Facebook



@946KIZUNA  
Instagram

## 目次

要旨	2
2022年度(令和4年度)事業報告	3
○課題解決に向けたロードマップ	4
2023年度(令和5年度)事業計画(案)	5

### 釧路森林資源活用円卓会議について

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。人口10万人、森林面積10万haを超えるのは全国で3市のみと、まさに釧路市は「森林都市」(森林率74%)と言えます。

この「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(H22年).11設置(川上部会2010年(H22年).12、川下部会2011年(H23).2)しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

# 2022 年度(令和 4 年度)事業報告

2022 年度(令和 4 年度)の活動状況は次のとおりです。

## ■ 川上部門

低コストな施業の推進 担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>川上部会研修「リモコン下刈機「TIMAN」の実演を開催</u></li> <li>・<u>【資料 1】</u></li> <li>・<u>林業・木材産業担い手確保に向けた就職説明会等への出展協力</u></li> <li>・<u>【資料 2】</u></li> </ul>
----------------------	---

## ■ 川下部門

建築関連での木材利用	・ <u>地域材を活用した公共建築物【資料 3】</u>
製品開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くしろ木づなプロジェクトにおける木製品開発の取組</li> <li>・<u>商品企画研究会の活動【資料 4】</u></li> </ul>

## ■ 普及啓発活動

消費者理解の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>木育関連事業【資料 5】</u></li> <li>・森林認証制度の情報収集・検討</li> </ul>
域外利用の推進 PR	・ <u>道内外向けプロモーション活動（展示会への出展）【資料 6】</u>

## ■ 市施策関連

森林環境譲与税の 使途状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>市内私有林整備・地域材の利用促進・市民への普及啓発に向けた森林環境譲与税に関する使途状況【資料 7】</u></li> </ul>
------------------	--

2021年度(令和3年度)より、円卓会議第3期における展開方向(2018(平成30)～2020(令和2)年度において新たに顕在化した課題を踏まえ、「課題解決に向けたロードマップ」により取組を進めることとしています。

■第3期の展開方向(2018(平成30)年度～2020(令和2)年度と新たに顕在化した課題

分野	第3期の展開方向	新たに顕在化した課題
全般	・森林環境譲与税の導入への対応	・森林環境譲与税の効果的な活用
川上	・担い手の確保 ・森林資源の齢級構成の平準化 ・活着性に優れ風倒に強いコンテナ苗の導入	・担い手の確保 ・森林資源の整備方針と市有林管理の長期的方針 ・スマート林業への対応 ・コンテナ苗の導入と普及
川下	・建築関連での木材活用底入れ ( ・内外装への限定利用から構造材への積極利用の推進 ・住宅や店舗・事務所建築での木材利用の推進 ) ・製造者やユーザーからの発案による製品開発の推進	・建築物等への木材利用の促進(住宅・非住宅) ・カラマツ・トドマツを活用した木製品の普及
普及啓発	・「なぜ地域材を使用するのか」という消費者理解の醸成 ・カラマツ・トドマツの認知度向上	・森林及び木材利用についての消費者理解醸成促進 ・域外利用に向けた取組(森林認証取得検討など)

■課題解決に向けたロードマップ(2021年度(令和3年度)～)

分野	課題	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)～
全体	森林環境譲与税の効果的な活用			
川上	担い手の確保			
	森林資源の整備方針と市有林管理の長期的方針の検討			
	スマート林業への対応			
	コンテナ苗の導入と普及			
川下	建築物等への木材利用の促進			
	工業技術センターを核とした製品開発			
	消費者理解の醸成(域内利用の取組)			
普及啓発	域外利用の推進PR			

## 2023 年度(令和 5 年度)事業計画 (案)

2023 年度(令和 5 年度)は次のような活動を実施予定です。

### ■ 川上部門

担い手の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の確保を目的とした説明会への出展</li> <li>・北の森づくり専門学院とのマッチングにむけた情報収集</li> </ul>
森林資源の齢級構成の平準化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>市有林管理の長期的方針の検討【資料 8】</b></li> </ul>
研修会の実施 コンテナ苗の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート林業への対応に向けたスキルアップ研修会の実施</li> <li>・コンテナ苗植栽地の経過観察</li> </ul>

### ■ 川下部門

建築関連での木材利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設への木製品導入（市役所 1F の木質化）</li> <li>・非住宅木造建築（公共・民間）の推進</li> <li>・建築士育成への支援・研修</li> <li>・「釧路市地域材利用推進方針」の改正</li> </ul>
製品開発の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くしろ木づなプロジェクトにおける木製品の開発等 商品企画研究会の開催、開発製品の改良、流通方法の検討</li> <li>・釧路高専との連携（山花温泉リフレ用の椅子の開発）</li> </ul>

### ■ 普及啓発活動

消費者理解の醸成 （域内利用の取組）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の各種イベントにおける木工体験等のブース出展等 →<b>2023 年度事業イベント等実施スケジュール【資料 9】</b></li> </ul>
域外利用の推進 PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林認証制度の情報収集・検討</li> <li>・道内外・海外向けプロモーション活動（展示会への出展等）</li> <li>・効果的な情報発信の検討</li> </ul>

### ■ 市施策関連

森林環境譲与税の用途の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>森林環境譲与税を財源とした釧路市における林業・木材産業の課題解決に向けた取組の推進【資料 10】</b></li> </ul>
---------------	--